

No. 34

令和7年5月臨時会
令和7年6月定例会
(令和7年8月1日発行)

長瀬町



長瀬町議会 HP

議会だより



絶景の岩畳野点 (野原 清さん)

議会構成が変わりました

2

ページ

6月定例会

条例案・補正予算案を可決

4・3

町政を問う 一般質問

6・5

紹介します 議員の活動

7

視察来町

岩手県田野畑村議会と
栃木県那珂川町議会が

長瀬町を訪問しました！

8

次回定例会は
9月9日(火) 午前9時
開会予定です



議会構成が変わりました

7月10日に開催された臨時会で正副議長、常任委員会、議会運営委員会の委員のほか、皆野・長瀬下水道組合の議会議員を決めました。

正副議長就任のご挨拶



議長 関口雅敬

この度、関口まさたかは長瀬町議会議長に就任いたしました。

これもひとえに皆様のご支援のたまものでございます。

まことにありがとうございます。

職責遂行のため、今まで同様、不偏不党を守り、公平公正を基として議長職を全うする所存です。

大変恐縮ではございますが、さらなるご指導、ご支援を戴きますようお願い申し上げます。



副議長 大島瑠美子

暑中見舞い申し上げます。

この度、副議長に就任しました大島です。これからは議長の補佐役として、議会運営に全力で取り組んでまいります。

また、開かれた議会を目指し、住民の声と地域の課題を真摯に受け止め、それらをしっかりと反映できるよう議会一丸となつて邁進してまいります。

微力ではございますが誠心誠意職責を果たしていきたいと存じますので、皆様方のご協力をお願いし就任のご挨拶といたします。

鈴木日出男議員、板谷定美議員、岩田 務議員の6月9日付での辞職に伴い、6月29日執行の長瀬町議会議員補欠選挙で、中川博介氏、村田武彦氏、近藤一美氏が当選されました。(任期は6月30日～令和9年4月30日)

長瀬町議会構成

7月10日現在

◎…委員長 ○…副委員長

議会選出監査委員

村田 武彦

総務教育常任委員会

◎村田 徹也
中川 博介

○新井 利朗

大島瑠美子

村田 武彦

経済観光常任委員会

◎野原 隆男

○野口 健二

関口 雅敬

近藤 一美

議会運営委員会

◎新井 利朗
野原 隆男

○野口 健二
近藤 一美

大島瑠美子
村田 武彦

村田 徹也
中川 博介

(オブザーバー) 関口 雅敬

議会だより編集委員会

◎大島瑠美子
村田 徹也
中川 博介

○関口 雅敬
野原 隆男

野口 健二
近藤 一美

新井 利朗
村田 武彦

秩父広域市町村圏組合議会議員

新井 利朗

大島瑠美子

皆野・長瀬上下水道組合議会議員

野口 健二

野原 隆男

近藤 一美

中川 博介

条例案、補正予算案を可決しました

5月8日に行われた臨時会及び6月6日に行われた6月定例会において、条例の改正・一般会計の補正予算案などが提出され、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

5月臨時会

専決処分

長瀬町税条例の一部を改正する条例

物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整の観点から、特定親族特別控除の創設や原動機付き自転車の種別割税率区分の見直し、加熱式たばこの課税方式の見直し等に関する法律の一部改正に伴い条例の一部を改正するもの。

〔主な質疑〕

Q特定親族がどの範囲でどういう形か。 A特定親族は19歳以上23歳未満と法律で規定されています。

長瀬町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税における加入者負担の公平性を図る観点から、国民健康保険税の課税限度額の引き上げや軽減判定所得の見直しを行い、中低所得層に対する軽減措置の拡充を図るもの。

条例の改正

職員の給与に関する条例等の一部改正する条例

地域手当が支給されることになったことに伴い時間外勤務手当、勤勉手当を支給する際に地域手当も含めて算出するよう改正するもの。

〔主な質疑〕

Q地域手当とはどのようなものか、地域的な分類はあるのか。 A民間の賃金水準や地域の物価水準を基礎に地域間によって生ずる差を埋めるために支給するものです。1級地から5級地まであり、長瀬町は5級地になります。

A民間の賃金水準や地域の物価水準を基礎に地

6月定例会

条例の改正

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

職員またはその配偶者が、妊娠または出産したこと等を申し出たとき、育児休業に関する制度の周知や請求の意向確認等の面談をするとともに、両立支援制度の周知をするなどの措置を講じるよう所要の改正を行うもの。

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

現行制度上の育児部分休業を第1号部分休業とし、新たに第2号部分休業として1年に10日相当の時間数の範囲内で取得できる部分休業を設けることに伴って関連する規定の改正等を行うもの。

令和7年度 長瀬町一般会計補正予算（第1号）

ふるさとミライカレッジモデル実証事業1,000万円、こども家庭センター事業505万1千円、まちづくり推進事業1,071万1千円等、総額4,208万5千円を増額補正を行うもの。

〔主な質疑〕

Qふるさとミライカレッジの取組はどのようなものか。

A早稲田大学と協働してフィールドワークを実施し、最終的には、学生たちから若者・多地域からの目線で関係人口の創出に必要な施策を町へ提言していただく事業を現在計画しております。

Qこども家庭センター事業について。

Aこども家庭センターは役場 1 階の一部を相談室とし、相談員は現在の職員体制で子育て支援事業は現在と同じように実施していきます。

Q保育所等高騰対策補助金は補助金として少額だが、どのように利用するのか。

A補助金は、町内の保育園 2 園、認定こども園 1 園、放課後児童クラブに交付を行います。

補助額は県のほうから示されている補助単価に利用定員を掛けたものを交付額としサービスの質を落とさずにサービスを提供をしていただくため、運営費全体に充てる形で交付をするので、費目は特に設けておりません。

Q町営駐車場測量設計業務委託料の競争入札を実施するのか。

A競争入札により事業を実施することを考えております。

Q駐車場の整備を進めているが、トイレ等の付帯設備の整備を実施するのか。

Aトイレ等は、隣接するはつらつパークのトイレ等の利用を想定をしているので、整備は現在のところ検討の範囲に入っておりません。

■会計別補正 予算額一覧

会 計 名	補 正 額	予 算 総 額
一般会計補正予算（第1号）	4,208 万 5 千円	41 億 1,161 万 5 千円

工 事 請 負 契 約 の 締 結

工事請負契約の締結について

現行の防災行政無線の親局は、平成21年度に設置し、導入から15年が経過しており、老朽化や機器の部品調達なども難しくなっている。このため、保守も難しくなることから、子局なども合わせて全面的に更新工事を実施するもの。

〔主な質疑〕

Q契約を締結した元請け業者が施工せず下請けが施行するのか。

A下請は、関係法令に基づき適正に対応されることが前提となっております。本工事契約においても、契約書において下請に関する条項を設けており、原則として一括下請は禁止しているところです。

Q防災無線の工事が終われば、今より聞きやすくなるのか。

A高品質の音声合成機能ができるようになります。また、役場の操作卓から子局ごとに音量調整が可能となり、細かい調整が可能となるので、現行のものより聞き取りやすくなります。

お知らせします 審議した議案と議員の賛否		審 議 結 果	鈴 木 日 出 男	板 谷 定 美	野 原 隆 男	岩 田 務	村 田 徹 也	野 口 健 二	関 口 雅 敬	大 島 瑠 美 子	新 井 利 朗
第2回臨時会（5月8日）											
専 決 処 分	専決処分の承認を求めることについて（長瀬町税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	－	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（長瀬町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	－	○	○	○	○	○
条例の改正	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○
第3回定例会（6月6日）											
条例の改正	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○
補 正 予 算	令和7年度長瀬町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○
契約の締結	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	－	○	○

○：賛成 ×：反対 ー：議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します



町政を問う 一般質問



せきぐちまさたか
関口雅敬議員

選挙の投票所について

〔総務課長〕 駐車場が狭く町及び選挙管理委員会も懸念事項としていた

Q 井戸及び風布地区の投票所が井戸風布地区集会所から井戸農村センターに変更になる件に関して、周知が十分ではないと感じる。このままでは選挙当日に混乱が生じるばかりでなく、投票率の低下も懸念されることから、投票所の変更に関して伺う。

A 従来の投票所は、「駐車場が狭く、傾斜もあり大変危険だ」という意見等が、町民から届いていました。このため、選挙管理委員会では、現地確認を行い、安全面、施設の環境面等を考慮し、投票所を井戸農村センターに変更することが望ましいとの結論に至

りました。投票所変更については、広報ながとろ5月号に投票所変更に関する記事を掲載し、同6月号では町長選挙の記事に合わせて周知しています。当該地区には、区長回覧でも周知しました。投票率が低下することのないよう、投票日当日に投票所に行くことが難しい方には、期日前投票による投票もご案内しています。

【その他の質問】

・元気と安心お助け隊事業に対する町の対応について



むら た てつ や
村田徹也議員

時代を見越した施策の見直し

〔町長〕 職員一丸となり安心・安全なまちづくりを進める

Q 町の課題や実施する施策の内容を職員が共通認識することが重要と考えるが、どのような取組を行っているのか。

A 各課長の人事評価上の業績目標を設定する際には、年度当初に協議を行うことで、町の目指す施策が職員全体に浸透し、的確な行政運営に結びついていきます。

また、昨年度は職員からの提案で初めて主要事業の課題等を検討するサマーレビューを実施し、43件中、15件の提案を令和7年度当初予算に反映しました。

Q 安心・安全なまちづくりの基本となる医療や防犯

対策を、今後どのように充実していくのか。

A ちちぶ定住自立圏の枠組みの一つの「ちちぶ医療協議会」で、医療体制の整備・充実に取り組んできました。今後もこの枠組みの中で、地域の医療体制の整備充実に取り組んでいきます。

また、町では防犯対策を強化するため、長瀬町住宅等防犯対策補助金を開始し、防犯灯の計画的な更新を図るための予算も計上しています。

【その他の質問】

・スポーツ振興について・施策決定への住民意見の反映について



すずき ひ で お
鈴木日出男議員

これまでの成果と町政への思いについて

〔町長〕 観光業者が心を合わせて、よりよい観光地づくりをしてほしいと願う

Q 町長を退任するに伴い、今までの成果と今後、町政に対する自身の考えやこれからの町への期待について伺う。

A 町長就任前から町道整備を課題として強く認識していたことから、特に狭あい道路の整備について力を入れてきました。

また、子育ての支援にも力を入れ、18歳までのこども医療費無償化や学校給食費無償化などを、他の自治体よりも比較的早く制度化を図り、ふれ愛ベース長瀬、塚越グラウンド、はつらつパークなど、

町民や子どもたちの活動拠点の整備にも取り組みました。

人口減少や高齢化という全国的な課題の中で、近隣市町村と牌の奪い合いをするのではなく、長瀬らしさを十二分に発揮し、関係人口、交流人口を増やす施策を考えていくことと、若い世代が安心して暮らし、持続可能で活力のある町づくりを期待しています。

一町民として長瀬の発展を心から願い、応援していきます。



あら い としろう
新井利朗議員

健康寿命の延伸と医療費の削減について

〔健康こども課長〕フレイル予防の視点で健康増進事業に取り組む

Q長瀬町は4年連続で健康長寿優秀市町村「優秀賞」に選ばれた。町が実施した取組に効果があり、職員の努力が認められた結果だが、これら事業をどのように発展させ普及していくのか伺う。

A町では、「長瀬町健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画」を策定し、この計画に沿って健康増進事業を展開していきます。計画では新たな数値目標を加え、取組ごとに合計29の目標値を掲げています。

また、町は様々な広報媒体を利用して、「生活習

慣病予防のためのレシピの紹介」や「元気モリモリ体操の紹介」などを行い、健康増進の取組の普及に努めるとともに、常に情報収集して効果があると思われる事業を積極的に取り入れてきました。

今後も健康増進事業の数値目標の達成に向けて、様々な事業に積極的に取り組むことでフレイル予防、さらには、健康寿命の延伸につながるよう取り組んでいきます。



いた や さだ み
板谷定美議員

小中一貫教育について

〔教育長〕小中一貫教育の方向性「長瀬らしさ」がキーワード

Q検討委員会を傍聴したが、校舎建て替えの議題が中心となっており、教育の本質の部分が後回しになっているのを感じたが、どのようになっているのか。

A小中一貫教育の施設についてだけでなく、教育の方向性や実施方法、課題などについても協議しています。

Q小中一貫教育の導入を進めるに当たり、コンサルタントを入れているが必要な措置なのか。

A小中一貫教育の実施に向けた施設の検討をするため、専門的かつ技術的な知見が必要となることから

専門業者への委託は必要不可欠と考えています。

Q児童生徒が今後、さらに減少するのは理解しているが、小中一貫教育は長瀬町に必要なのか。

A長瀬町学校のあり方検討委員会から、「一定規模の児童生徒集団の中で、多様な考えに触れ、切磋琢磨し合うことで、心身の豊かさを育む教育環境が望ましいことから、小中一貫教育の導入を提言する」と答申をいただいたことは、尊重すべきことと考えています。



おおしま ゐ こ
大島瑠美子議員

水難事故防止について

〔総務課長〕関係機関と連携協力し、取り組んでいきます

Q長瀬を流れる荒川は風光明媚だが、流れが複雑で多くの水難事故が発生している。夏に向け多くの観光客や町民が川へ行く機会が増えるが、水難事故防止のために町が実施している対策について伺う。

A観光地長瀬の安心、安全は極めて重要です。平成25年に長瀬町及び皆野町のほか警察、観光関係団体、県関係機関、教育機関で構成する「長瀬・皆野地区荒川水難事故防止対策協議会」を設立し、水難事故を未然に防ぐための基本ルール等を定め、「水難事故防止共同宣言」を表明しました。協議会では、

川で遊ぶときの7つのルールを記載したチラシを配布して、水難事故防止の呼びかけや危険箇所への看板の設置、荒川ダム総合管理所等の警報設備からの注意放送も行っています。

また、「官民合同水難救助訓練」等の水難救助訓練の実施や、水難事故防止対策計画を定める等、関係機関と連携協力し、水の事故ゼロを目指していきます。

【その他の質問】

- ・はしか(麻疹)の予防接種の状況について
- ・認知症対策について

町民の皆さんに知ってほしい
こんなこと、あんなこと

紹介します議員の活動

議会の主な活動として、条例制定や改廃、条例・予算の議決、決算認定、請願・陳情の処理、意見書提出(国や県)、人事案件の同意、常任委員会の活動等もあります。その他にも研修会参加による議員資質向上のための会議などがあります。

令和7年
5月25日
(日)

第75回全国植樹祭 ～人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

「天皇陛下の御臨席を仰ぎ、秩父ミューズパークで全国植樹祭が開催されました」

記念式典では、天皇陛下によるお手植え・お手撒きや、緑化功労者等への表彰、大会宣言が行われました。

「プロローグアトラクション」「大会テーマの表現」「エピローグアトラクション」の3つのアトラクションを通して、大会テーマ「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」を演出しました。

主な出演者は、林家たい平さん、朝日奈央さん、原田勇雅さん、吉澤嘉代子さん、堀尾正明さんでした。

寄居町での開催から66年。緑のバトンが埼玉に戻ってきました



全国植樹祭とは？

豊かな国土の基盤である森林やみどりに対する国民的理解を深めるために開催される、国土緑化運動の中心的事業です。毎年春、各都道府県持ち回りで、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、県内外から多くの招待者が参加し、式典行事や記念植樹を行います。

埼玉県では、昭和34年(1959年)に寄居町で開催された第10回大会以来、66年ぶり2回目の開催でした。

令和7年
6月3日
(火)

岩畳リフレッシュ大作戦

「町ぐるみで育む、自然と文化の宝」

「長瀬」を代表する岩畳の美しい景観や文化的価値、関東有数の観光地としての魅力を次世代へと継承していくために、低木や雑草の刈払いを町及び関係機関、関係団体、ボランティア、多くの方に参加していただき実施することができました。当日は雨で開催が危ぶまれましたが、町議会も全議員が参加して作業に協力することができました。



雨にも負けず、自然と心をつなぐ刈払い大作戦です！



岩手県田野畑村議会政務調査会 「移住・定住施策に関わる取組」



6月23日(月)に、岩手県田野畑村議会議員9名と議会事務局職員の1名の計10名の方々が「移住・定住施策に係る取組」について視察研修に訪れました。

長瀬町から議長・総務教育常任委員会委員長、担当課である企画財政課3名の職員が視察研修の説明のために同席し、対応しました。



田野畑村議会の皆さんと

地域とともに「移住・定住」を探る

【研修項目】

- ・移住定住施策の取組経過、支援内容
- ・移住における特徴的な事例の紹介
- ・地域おこし協力隊の事例の紹介
- ・空き家バンクの取組について

栃木県那珂川町議会総務産業常任委員会 「観光振興と長瀬町スタートアップ支援事業」

6月24日(火)に、栃木県那珂川町議会の議長、総務産業常任委員会6名と企画財政課長、産業振興課長、議会事務局職員の計11名の方々が視察研修に訪れました。

長瀬町から議長・経済観光常任委員会委員長、担当課である産業観光課、企画財政課の職員が視察研修の説明のために同席し、対応しました。



観光と起業、どちらも育てるまちへ

【研修項目】

- ・観光振興について(長瀬観光QRガイドマップ)
- ・長瀬町スタートアップ支援事業について



那珂川町議会の皆さんと

編集後記

連日暑い日が続いております。熱中症対策にはこまめな水分とミネラル補給が重要ですが、夏といっ
たら西瓜、熱中症予防に効果があるとのことですよ。



これから地域で夏祭りが開催されますが、健康に留意して楽しい夏祭りになりますようお願いしております。(大島瑠美子)